総務常任委員会の記録

(教育課)

招 集 年 月 日	令和4年3月9日 (水)
招 集 の 場 所	松野町議会議場
開 会	3月11日 (金) 午前11時 9分
閉 会	同 上 午前11時53分
出 席 委 員	山下 智恵、関本 豊、村尾 重利、赤松 紀幸、加藤 康幸、 森岡 健治、近藤 由美子
欠 席 委 員	
付議事件説明 のため出席 した者の職氏名	町長 坂本 浩、副町長 八十島 温夫、 教育長 三好 秀二 課長 森本 秀行、係長 藤藪 享史、主事 亀澤 一平
職務のため出席 した者の職氏名	議会事務局長 大谷 吉廣
付 議 事 件	1 議案第20号 令和4年度松野町一般会計予算について ◎ 歳入 (該当分) ◎ 歳出 10款 教育費

山下委員長	<p>ただいまから、教育課所管の付託案件審査を行う。</p> <p>議案第20号「令和4年度松野町一般会計予算」歳入該当分、歳出10款教育費、教育課所管分の審査を行う。</p> <p>担当課長に説明を求める。</p>
森本課長	<p>(業務計画説明)</p> <p>続いて、予算の説明に移る。歳出は予算書103ページからである。</p> <p>なお、予算の主な内容、増減等については、資料の5ページ、6ページに取りまとめているので、ご参照いただきたい。</p> <p>まず、10款 教育費、1項 教育総務費、1目 教育委員会費、1,065,000円は、教育委員に係る報酬、旅費などでほぼ例年どおりの予算となる。</p> <p>次に、2目 事務局費は82,694,000円で、前年度比10,878,000円増額である。これは、先ほど説明した校務用テレワークシステム構築委託料9,965,000円と13節、校務用パソコン更新による使用料の増額を計上したことによるもので、そのほか、職員の人件費や給食費補助金、地域おこし協力隊活動経費などは、ほぼ例年どおりの予算となっている。</p> <p>次に、106ページ、2項 小学校費、1目 学校管理費は、38,213,000円で、学校医の報酬や教育用パソコン使用料、それぞれの小学校の管理経費であり1,064,000円減額となっている。両校ともに来年度は学校生活支援員が1名減の予定であり、その委託料を減額している。</p> <p>次に、108ページ、2目 教育振興費は、8,245,000円で、各種検定手数料や教材備品、図書購入費、児童派遣費補助金や総合学習補助金、就学援助費などで820,000円減額であり、教材用備品購入費と就学援助費の減額が主な要因となる。</p> <p>次に、109ページ、3項 中学校費、1目 学校管理費は、22,787,000円で、小学校費と同じように、学校医の報酬や教育用パソコン使用料、中学校の管理経費で、3,184,000円減額となっている。本年度整備した木製の机、椅子の整備費3,608,</p>

000円の減額が主な要因で、その他はほぼ例年どおりの予算である。

次に、111ページ、2目 教育振興費は8,483,000円で前年度比966,000円減額となっている。これは、教師用指導書やデジタル教科書など教科書改訂に伴う購入経費2,105,000円の減額が主な要因である。

次に、112ページ、4項 社会教育費、1目 社会教育総務費は、9,293,000円で、社会教育委員や職員の人件費、成人式など社会教育活動の経費で、前年度比702,000円増額となっており、新年度から成人式参加者のPCR検査費用と部落の集会所のNHKの受信料を新たな支出として計上している。

次に、2目 公民館費は11,118,000円で、館長、分館長の報酬、職員の人件費、学習講座開設経費など、公民館活動にかかる経費で、前年度比2,063,000円増額で、人件費の増額が主な要因である。

次に、114ページ、3目 人権・同和教育費は2,220,000円で、学習会開催のための経費や人教松野支部補助金などであり、全国人権・同和教育研究大会参加にかかる経費が減額となっている。

次に、115ページ、5目 基幹集落センター費 1,761,000円は維持管理経費でほぼ例年どおりの予算である。

次に116ページ、6目 文化振興費は70,212,000円で、前年度比36,960,000円の増額となっている。文化振興費は、職員2名分の人件費、埋蔵文化センターの管理費、河後森城跡の環境整備費、不器男忌俳句大会開催経費、目黒の景観選定作業や奥内の景観の啓発経費などである。

先ほど説明したとおり、令和4年度は史跡河後森城跡の西第十曲輪の環境整備を行うこととしており、その事業費に43,690,000円を計上しており、大きな増額の要因となっている。

次に、118ページ、7目 不器男記念館費は8,269,000円で、不器男記念館の管理経費、記念館を活用した講座等の開催経費、俳句の小径の整備費などで、前年度比1,297,000円減額

となっている。

次に、119ページ、8目 ふるさと館費3,088,000円、目黒ふるさと館の維持管理経費で、前年度比1,508,000円増額である。先ほど説明した、トイレの改修と展示室へのエアコン設置を計画している。

次に、120ページ、5項 保健体育費、1目 保健体育総務費7,339,000円はスポーツ推進委員の報酬や分館対抗スポーツフェスティバル、駅伝大会など各種大会の開催経費、Web大会実施のためのスポーツタウン利用手数料、桃源郷マラソン大会事業経費などで、前年度比7,260,000円の減額である。オリンピックのホストタウン事業にかかる補助金7,618,000円の減額が主な要因である。

次に、121ページ、2目 健康増進センター費916,000円は、維持管理経費で、前年度比499,000円減額であり、ボルダリングボード作成費とコロナ対策用備品購入費の減額が主な要因である。

次に、3目 学校給食費26,509,000円は、共同調理場の調理員の人件費と施設の維持管理経費で、9,740,000円減額である。今年度実施した光触媒塗装費8,732,000円の減額が主な要因である。

次に、4目 スポーツ交流センター費は71,911,000円で、前年度比69,471,000円増額している。先ほども説明した、長年の懸案事項である屋根の改修にかかる経費の計上によるものである。

次に、5目 多目的広場費は2,104,000円で、森の国ドームの維持管理経費であり、ほぼ例年どおりの予算であるが、新年度は支障木の伐採費300,000円を計上している。

最後に、6項、1目 幼稚園費781,000円は町外の幼稚園に入園希望のある園児の広域負担金である。

続いて、歳入について説明を行う。

予算書の19ページ、12款 分担金及び負担金、2項 負担金、

2目 教育費負担金78,000円は、日本スポーツ振興センター共済掛金負担金である。

次に、20ページ下段、13款 使用料及び手数料、1項 使用料、5目 教育使用料344,000円の内343,000円は、1節 公民館使用料、3節 基幹集落センター使用料から7節 多目的広場使用料まで、教育課が管理する施設の使用料収入である。

次に、22ページ、14款 国庫支出金、1項 国庫負担金、3目 教育費国庫負担金304,000円は、幼稚園広域入園に係る利用料に対する国庫負担金である。

次に、23ページ上段、2項 国庫補助金、1目 総務費国庫補助金、5節 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金のうち、9,965,000円は、テレワークシステム構築費用に充当している。

6目 教育費国庫補助金の21,989,000円は、小中学校の、特別支援教育就学奨励費補助金と、国宝重要文化財等保存整備費補助金21,845,000円である。

次に、25ページ、15款 県支出金、1項 県負担金、4目 教育費県負担金151,000円は、幼稚園広域入園に係る利用料の県負担金である。

次に、27ページ、2項 県補助金、7目 教育費県補助金は、4,417,000円で、1節 事務局費補助金に、スクールガードリーダーの活動に対する補助金、スクールサポートスタッフ配置事業費補助金、スクールソーシャルワーカー活用事業費補助金の計722,000円、2節 人権・同和教育費補助金に地域改善対策高等学校等奨学金事務市町交付金として56,000円、3節 文化振興費補助金に、えひめの未来チャレンジ支援事業費補助金3,555,000円、4節 幼稚園費補助金に、幼稚園広域入園に係る利用料の県補助金84,000円を計上している。

次に、30ページ、16款 財産収入、1項 財産運用収入、2目 利子及び配当金、1節 利子及び配当金の内、人材育成基金預金利子として5,000円のうち4,000円、続いて、2項 財産売払収

入、2目 物品売払収入、1節 物品売払収入 51,000円の内、50,000円は教育課関係の予算である。

次に、31ページ、18款 繰入金、2項 基金繰入金、3目 人材育成基金繰入金、1節 人材育成基金繰入金 3,660,000円の内3,360,000円は教育課関係の予算である。

次に、33ページ、20款 諸収入、4項 雑入、1目 雑入では、7節 商品売払収入に、不器男記念館商品売払収入として20,000円、自動販売機商品売払収入のうち、教育課管理施設分が120,000円含まれている。8節 図書販売収入に40,000円、9節 市町振興協会交付金のうち、市町振興協会助成金として、桃源郷マラソン大会助成金と不器男忌俳句大会助成金に1,290,000円、15節 イベント参加費に、桃源郷マラソン大会参加費2,000,000円、不器男忌俳句大会参加費350,000円、21節 雑入に中学校太陽光発電の売電収入として432,000円が教育課関係の雑入である。

次に、34ページ下段、21款 町債、1項 町債、1目 過疎対策事業債のうち教育課関係分は、ハード事業分で河後森城跡環境整備事業に20,800,000円、目黒ふるさと館設備改修事業に1,200,000円、ソフト事業分で学校給食費補助事業に6,100,000円、地域まるごと博物館事業に2,600,000円を充当している。

最後に、35ページ、4目 緊急防災・減災事業債のうち69,400,000円は、スポーツ交流センター屋根改修工事に充当している。

以上が、教育課所管分の予算である。よろしくご審議いただき、承認いただくよう、お願い申し上げます。

山下委員長

担当課長の説明が終了した。

委員からの質問を許す。

森岡委員

2点お尋ねする。

まず1点目、芝不器男記念館の土地の借上料750,000円であるが、もう長年借地料を支払っているが、もうそろそろ購入とい

<p>森 本 課 長</p>	<p>うか土地を売っていただくような手続きを踏んではと考えるがどうか。</p> <p>それと、前回防災安全課でも話したが、松丸地区で不審者がおり、子どもに声をかけたと聞いている。大事には至らなかったのが良かったが、町民の声を聞いて町は把握をしているのか。今後、このことに関しては、子どもは宝であるので、どう取り組んでいくのか考えがあればお聞かせ願いたい。以上である。</p> <p>芝不器男記念館の借上料については、3年前の予算で購入を計画し予算も計上させていただき相手方とも交渉を進めたが、なかなか金額等の面で折り合いがつかない状況になってしまい、その年の予算については最終で減額をさせていただいたという経緯がある。</p> <p>その後の交渉もうまく進んでいない。人等も頼って、いろいろな方面からアプローチはしているけれども、なかなか前に進んでいないというのが現状である。</p>
<p>三 好 教 育 長</p>	<p>はじめに、子どもの安全安心について、森岡委員には真剣にお考えいただいていることに心より感謝し御礼申し上げたい。</p> <p>子どもたちの登下校の安全安心について、2つの側面からお話をしたいと思う。</p> <p>1点目は、関係機関等との連携協力という側面である。</p> <p>学校、保護者、それから地域教育委員会、あるいは警察、そういった関係機関の連絡体制がある。双方向の連絡体制である。</p> <p>不審者が見つかった場合、子どもから情報が入る場合、保護者から入る場合、あるいは警察から入る場合、学校から入る場合、様々であるが、そのあたりが双方向にきちんと連絡が迅速に行くような体制を整えている。具体的にはFAX、メール等で行っており、そのため不審者の情報については、迅速に教育委員会、学校には連絡が入っている。</p> <p>学校に連絡が入ると、学校からは、保護者に対して、一斉にメールを配信し、注意を呼びかけて保護者への啓発を図る。あわせて、</p>

子どもたちには、その場で不審者対応の指導を行い必要があれば教師が付き添って下校する。子どもたちも、必要があれば、集団で下校させるという措置をとる場合もある。

以上のような関係機関と連携をした、子どもの安心安全を守る体制を一応構築している。

続いて2点目である。

子どもたちの登下校を見守っていただいている方がいる。もちろん教員も立つし保護者も立つが、地域のボランティアの方あるいは駐在所の方に子どもたちを見守っていただいている。子どもたちを我々大人が見守るということは不可欠である。見守っていかなくてはならないが、一方で、我々大人が子どもたちを100%守り切れることは絶対にできないという現実もある。四六時中ついているわけにいかないし、やがて子どもは成長し自立をしていく。そのように考えた時に、我々は何をしなければならないのだろうか、つまり、子どもたちが自分で自分の命を守ることができる力をしっかりと身につけてやるのが、我々の仕事だと考えている。

そのために、学校では小学校1年生から中学校3年生まで、1年間何を、どの時期に、どのように指導すればいいのかという計画を立てて安全教育を行っている。教室で座って資料を見ながらする教育もあれば、実際に体験しながら、つまり訓練をする場面もある。

そういった教育を施すことによって、子どもたちに自分の命は自分で守る、そういう力を付けてやらなければならないと思っている。以上である。

森 岡 委 員

まず1点目の、芝不器男記念館の土地借上料に関して、詳細は分かったが、今後、やはり立ち切れにならないように、もう一度またアタックするか、それなりの交渉、手段をとっていただきたい。年間750,000円、10年間で7,500,000円なので結構な金額となる。

そのあたり、町の文化遺産としてここを守っていくなら、その土

三 好 教 育 長

地の購入もやはり考えなければ、止まっているだけではちょっと困るのではないかと思っている。

また、防犯について、学校教育での対応は分かる。しかし、子どもでも低学年となると、どうしてもやはり難しいところもあるし、地域の方も高齢化が進み、やはり人手が少なくなると、そういう犯罪が起きないとは限らない。このあたりは、やはり防災安全課と今後どう取り組めばよいか、連携しながら対応していただきたいと思っている。

最後にもう1点だけ質問したい。最近中断していると思うが、松野中学校の株式会社と、松野中学校の議会、この取組について少しもう一度、教育長に答弁いただきたいと思う。

実は、こども議会ではないが、議員の皆さんと松野中学校の生徒の懇談の場を設けることを計画していた。学校の方は準備をしてくれており、時期的には2月下旬ぐらいを予定していたが、議員の皆様にお伝えする前に、オミクロン株が感染拡大して、頓挫してしまった。

実は松野中学校の生徒たちが、今年度、まちおこしプロジェクト、まちおこプロジェクトという名前をつけたのであるが、それで町民の方々と交流しながら町を元気にしたいと、そういう活動をしてくれた。

具体的には、健康あるいはリサイクル、そういった当面する課題について、子どもたちなりに考え地域の方々と交流しながら解決していこうという取組である。

その取組を議員の皆様へ報告をして、議員の皆様お1人お1人から、子どもたちに励ましの言葉をいただくという流れで、感想や意見やアドバイスをしていただきかけた。あわせて、議員の皆さんお1人お1人が、まちおこし、町を元気にするためにどのようなお考えを持っていらっしゃるのか、あるいは実際に具体的に動いていらっしゃるのか、そういったことも子どもたちに教えていただいて、

<p>森岡委員</p>	<p>子どもたちを励ましてもらいたかったと、そういう狙いが実はあった。</p> <p>しかし、叶わなかった次第である。来年度必ずするという約束はできない。なぜなら、来年度もその活動をするかどうかわからないし、一番心配するのは、学校に負担をかけてはいけないということである。そのあたり、上手にやりくりをしながら、是非、議員さん方との懇談会は実施する方向で、前向きに検討していきたいと思っている。以上である。</p> <p>計画をしていただきありがたい。子どもの意見も聞きたいし、逆にこちらの考えも伝えたい。そのようにして、今後の松野町の発展に向けて、どう子どもたちが考えていくか、子どもたちの成長のためにも、いろいろ取り組んでいただきたいと思う。以上で終わる。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>現在、ロシアがウクライナに侵攻して、戦争が始まっているが、そのあたりのことや、今日はいくくも東日本震災の10年目が終わって11年目に突入するところに当たって、学校や家庭でお話するのも、とても重要なことであるが、学校自体でどういう話をしながら子どもたちと向き合っているのか、命とか、平和とか、人権について考える良い機会ではないかと私は捉えている。</p> <p>そのあたりでどういうコミュニケーションを子どもたちと持っているかについてお伺いしたい。</p>
<p>三好教育長</p>	<p>ロシアとウクライナのことから少しお話をするが、毎日、朝昼晚いつも報道されている。きっと、子どもたちも、大なり小なり見聞きしていることだろうと思う。</p> <p>私として、教育委員会として、校長先生方をお願いをしたいと思っていることは、非常に不適切な発言になるかもしれないが、機会を捉えて指導してほしいということである。</p> <p>戦争の悲惨さであるとか、あるいは不合理さ、怒りや悲しみ、そういったものを、身近なこと、自分のこととして感じ取る良い機会、良い機会というのは非常に不適切な発言であるが、そのような機会</p>

	<p>であろうと思っている。</p> <p>だから、そういう機会を捉えて、子どもたちにどんな理屈を並べ立てようとも正しい戦争などこの世にはない、正義の戦争など存在しないということを、ぜひ子どもたちに伝えてほしいと、そういうように校長先生方にはお願いをしようと思っている。</p> <p>それから、震災のことだが、もう10年になる。なかなか松野の子どもたちは、津波というのが実感できない、できないけれども、将来子どもたちは、町外に出て、様々な場所で活躍すると、当然、津波の被害も可能性のある場所で子どもたちは生きていかなければならないかもしれない。</p> <p>そういうことも想定して、1年間、先ほど申し上げた安全教育、指導計画を立てているが、津波に対する指導についても是非やっていただきたいということでお願いをしている。以上である。</p>
近藤委員	<p>本当に命とか平和とか、人権は大切な根幹的な問題であり、とても伝え方が難しいけれど、また一生懸命頑張って学校とも連絡を取りながら、対応をよろしくお願ひしたい。</p> <p>また、津波で亡くなった人たちもまだ3,000人弱ぐらいは不明者がいるということで、それだけでも大変なことだと思う。また、10年も経っているにもかかわらず不明者が1年間で3人ぐらいは見つかっているが、そのように日々努力して探し回っている人たちもまだ存在するのだという話も聞いている。そのあたりにも考慮しながら子どもたちに話をさせていただきたいと思う。</p>
山下委員長	<p>他にないか。</p> <p>質問が無いようであれば、採決に移る。</p> <p>ただいま審査している、議案第20号について、原案のとおり御承認いただけるか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
山下委員長	<p>賛成全員である。</p> <p>したがって、当委員会は、議案第20号「令和4年度松野町一般</p>

会計予算」歳入該当分、歳出10款教育費、教育課所管分については原案のとおり可決すべきものと決定する。

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和4年5月19日

松野町議会総務常任委員会委員長 山下 智恵